

# 珠洲市役所庁舎に導入した太陽光発電設備が 災害時の非常用電源として機能

災害時の効果発揮事例

概要：「平成26年度再生可能エネルギー等導入推進基金事業」により、珠洲市役所へ太陽光発電設備及び蓄電池を整備。当該施設は令和6年能登半島地震の際には非常用電源として機能し、震災対応で参集した職員の災害対応業務に貢献した。

府省庁名：環境省

- 実施主体：石川県珠洲市
- 実施場所：石川県珠洲市
- 事業概要：災害に強く、低炭素な地域づくりを推進するため、「平成26年度再生可能エネルギー等導入推進基金事業」により、珠洲市役所に太陽光発電設備及び蓄電池を整備。
- 事業費：62,000,000円（平成26年度）
- 災害の外力、被害と効果：  
「令和6年能登半島地震」により、珠洲市では最大震度6強を観測し、市内で最大約7,800戸が停電が発生した。



- 日中に太陽光発電で発電した電力を蓄電池に充電
- 商用電力が停電しているなかで、蓄電池より電力供給を行い、震災対応に集まった職員が災害対応業務を進めることができた。

## ＜珠洲市役所における太陽光発電設備＞



写真提供：珠洲市

- 太陽光発電設備・蓄電池からの電力供給は庁舎のLED照明として活用
- 令和6年能登半島地震の発生時、珠洲市役所では職員が震災対応業務を実施